

Panasonic

スポーツと生きていく。
スポーツで生きていく。

パナソニックスポーツ株式会社

2023年3月14日

スタジアム・アリーナの運営とその魅力向上について

- ・22年4月にグループ組織体制の変更に歩調をあわせて、スポーツ事業強化のため新会社を設立し関連事業を移管
- ・パナソニックホールディングスからガンバ大阪の株式をパナソニックスポーツへと移管



資本金	1億円
本社	〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-2 東京ミッドタウン日比谷
主要拠点	東京、大阪、埼玉、神奈川
事業規模	約110億円(2022年計画ベース、ガンバ大阪含む連結)
人員	164名(2022年計画ベース、単独)
子会社	ガンバ大阪
事業内容	バレー、ラグビー等プロスポーツの興行、企業スポーツ(野球、女子陸)の運営受託、スポーツに関連する新規事業開発 等

<主要拠点>



本気でスポーツに向き合い、
スポーツの持続的な発展にコミットする



「企業スポーツからスポーツ企業に」
～スポーツを持続可能な存在に～

事業化推進スポーツ

リーグ状況と収益性・ブランド露出の観点

企業スポーツ運営

					
チーム名	ガンバ大阪	埼玉パナソニック ワイルドナイツ	パナソニック パンサーズ	パナソニック 野球部	パナソニック エンジェルス
競技 (プロ/アマ)	男子サッカー (プロ)	男子15人制 ラグビー (プロ/アマ)	男子7人制 バレーボール (プロ/アマ)	男子硬式野球 (アマ)	女子陸上 (アマ)
ホーム	大阪府 吹田市、茨木 市、高槻市、豊中市、池 田市、摂津市、箕面市	埼玉県 熊谷市	大阪府 枚方市 沖縄県 那覇市	大阪府 門真市	神奈川県 横浜市
所属リーグ	J.LEAGUE (J1)	JAPAN RUGBY LEAGUE ONE (DIVISION 1)	V.LEAGUE (DIVISION 1)		

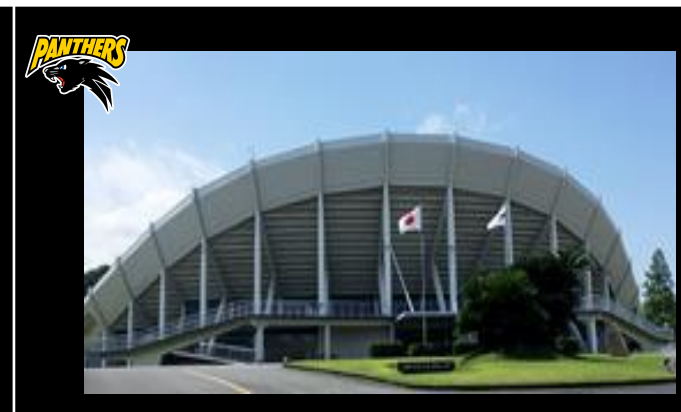
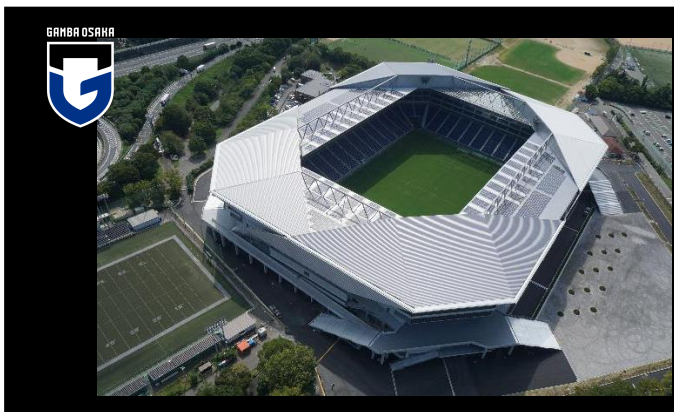


会場名	パナソニックスタジアム吹田	熊谷ラグビー場	パナソニックアリーナ
設立	2015年	1991年（2016年改修）	1965年
収容人数	40,000人	24,000人	2,930人
所有者	吹田市	埼玉県	パナソニックホールディングス（株）
管理	（株）ガンバ大阪	埼玉県公園緑地協会	パナソニック スポーツ（株）
特徴	寄付金でつくられた 日本初のスタジアム 万博記念公園・ExpoCity隣接	2019年ラグビーワールドカップ会場 2022年ホームスタジアムに 熊谷スポーツ文化公園内に設置	パナソニックグループ人材開発 センター内の体育館を改修
最寄り駅	大阪モノレール万博記念公園 徒歩15分	JR熊谷市駅 徒歩60分	京阪電鉄枚方公園駅 徒歩20分
年間HG数	20	8	1 8

指定管理

都度利用

保有



	指定管理	都度利用	保有
Pros	・指定管理者として自主事業可能 ・収容数4万で国際Aマッチ開催可	・ラグビー専用としての設備の良さ ・周辺施設との連携（ホテル、レストラン、病院）	・自社施設のため自由度高い
Cons	・長期指定管理契約（47年6ヶ月） ・サッカー専用のため他スポーツ開催不可 ・周辺商業施設との連携 ・試合終了後の渋滞	・自主事業は不可能 ・駅からの移動距離（徒歩1時間） ・試合終了後の渋滞	・老朽化、天井規格 ・収容人数少ない ・VIPルーム等無し ・駅からの移動（歩道の狭さ、国道）

コロナ影響は回復しつつあるが、駅からの徒歩移動が大回りとなる問題(＝周辺施設との連携の問題)とモノレール輸送力の限界、終了後の混雑が設立当初より課題

年度	平均観客数	観客数順位	備考
2019年	27,708人	3位	クラブ最多平均観客数
2020年	7,602人	5位	コロナ禍、リーグ2位
2021年	5,346人	16位	コロナ禍、5試合無観客
2022年	17,669人	6位	最終2試合声出し応援



大型イベント・展示会

音楽コンサート



製品展示会



会議室・研修・懇親会貸出し

プライベートイベント



スタジアムウェディング



国際試合

プレシーズンマッチ



挑もう、さらなる

6/20(火)

キリンチャレンジカップ 2023
(パナソニック スタジアム 吹田)

11/16(木)
FIFAワールドカップ2026
アジア2次予選 兼
AFCアジアカップ2027予選
(パナソニック スタジアム 吹田)

吹田市・ホームタウン連携

幼児・児童の ピッチ体験、遠足



市民参加型イベント



利便性の高いスタジアム・アリーナとそこで活動するスポーツチームの両輪は間違いなく“**地域を輝かせる公共財**”

1. 建設時のハードルを下げる(企業の投資判断に大きく影響)

- ・スタジアムやアリーナ建設における企業版ふるさと納税、寄附金控除の活用利便性の向上

2. 毎年の施設運用の黒字化支援(収益計算に大きく影響)

- ・平日の行政利用の推進(地域で支えるスタジアム・アリーナ)
- ・固定資産税等税金の長期的な減免
- ・立地、輸送などの問題に対する支援(=街づくり)



Panasonic **SPORTS**